

平成 21 年 9 月 25 日 第 6 号

飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

(このニュースレターは飯豊連峰保全連絡会会員各位と合同保全作業に参加頂いた皆様にお送りしています)

発行者：飯豊連峰保全連絡会

■合同保全作業（天狗ノ庭）の報告について

平成 21 年 9 月 19 日（土）～21 日（月・祝）、飯豊連峰の天狗ノ庭で、平成 21 年度の合同保全作業が行われました。今回の作業箇所は平成 19 年度の実証試験から数えると 3 回目の作業となり、植生裸地部に緑化ネットを敷設する作業を中心に行いました。今年 6 月 20 日の飯豊連峰保全連絡会議第 3 回会合で決定されたものです。

作業の概要としては、以下のとおりです。

9 月 19 日、天狗平ロッジに集合し、梶川尾根を登り、梅花皮小屋まで番線、土嚢袋等の資材と共同食料の荷上げを行いました。梶川峰下部（標高 1,650m 付近）にて、現地の笹と転石を用いてガリ一侵食部に土砂を堆積させるため土留め工を設置する作業を行いました。梶川尾根上部では、9 月 5 日（土）～6 日（日）に行った合同保全作業の経過を確認しました。土留め工設置箇所では土砂の堆積が確認でき、早くも保全作業の効果を確認することができました。その後、緑化ネット運搬班と番線加工班の 2 班に分かれました。緑化ネット運搬班は、翌日の緑化ネット運搬作業の負担を軽減するため、梅花皮小屋から緑化ネットの一部をクサイグラ尾根分岐まで運搬しました。番線加工班は、梅花皮小屋に到着後、緑化ネット固定に使用するペグを番線から加工する作業を行いました。

9 月 20 日の作業概要は以下のとおりです。

- ・梅花皮小屋から残りの緑化ネットを天狗ノ庭まで運搬しました。
- ・前日クサイグラ尾根分岐にデポしておいた緑化ネットを天狗ノ庭まで運搬しました。
- ・昨年度以前に設置した土留め工の手直しを行いました。
- ・裸地部に緑化ネット 17 巻（1 巻 1.2m×30m）を敷設する作業を行いました。ネット敷設後は風で飛ばされないように番線を加工したピンでネットを固定し、微地形効果と重しを兼ねて、転石を置きました。



作業前に参加者で現地を確認します



緑化ネットを敷設します



番線を加工したピンで緑化ネットを固定します



土留め工を設置します



作業終了後、全員で施工箇所を確認しました



作業終了後に記念撮影

今回の作業では一昨年以来の経験者が多く、緑化ネットを被せる、番線や転石でネットを固定する等、各自が役割分担をしてスムーズに作業が進み、予定していた時間よりも早く作業を完了することができました。作業後は梅花皮小屋に戻り、夜の打ち上げも大いに盛り上がりました。

また、翌日 21 日は丸森峰上部にて、余った土嚢袋と現地の転石を用いて、ガリー侵食部に土砂を堆積させるため土留め工を設置する作業を行いました。

梶川尾根上部の合同保全作業に引き続き、NPO 飯豊朝日を愛する会には計画の受皿になって頂き、資材、飲食料の提供、作業計画の決定など、子細に渡ってご尽力頂きました。置賜森林管理署からは多くの緑化ネットや土嚢袋を提供頂き、胎内市からは門内小屋へのネットの荷上げと保管に加えて、飲食物等の提供をいただきました。

実証試験も含め、平成 19 年度より 3 年に渡って行ってきた天狗ノ庭の保全作業ですが、今回の作業で一段落となり、今後の植生回復が期待されます。

今回の作業に関わって頂いた飯豊連峰を愛する多くの登山者や山岳関係者、また様々な形で関わってくださった地域関係者皆様に、感謝申し上げます。

《当日は、13 団体、33 人の参加がありました》

【発行者】

飯豊連峰保全連絡会

(事務局) 羽黒自然保護官事務所(佐藤、佐々木)

〒997-0141

山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL : 0235-62-4777

FAX : 0235-62-4537

E-mail : R0-HAGURO@env. go. jp